



市ではみんなに納めていた
だいた税金を1年間どのように
使ったかを「決算」として明らか
にしているよ。
決算の内容から市の財政状況
がどのようになっているのかを
一緒に見ていこう！

令和5年度 決算 大東の お財布事情

毎年、広報誌の6月号と12月号で
市の財政状況をお知らせしています。

令和5年度決算

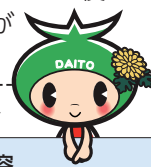
◇表1 令和5年度各会計決算額

(単位:千円)

会計名		歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	翌年度に繰り 越すべき財源 (C)	実質収支 (A-B-C)
普通会計	一般会計	53,270,072	52,835,399	43,017	391,656
	火災共済事業	14,341	11,654	0	2,687
	2駅周辺整備事業	19,815	19,815	0	0
特別会計	移管市営住宅事業	726,055	558,383	0	167,672
	国民健康保険	13,725,308	13,701,475	0	23,833
	交通災害共済事業	14,816	14,816	0	0
	介護保険	11,215,729	11,165,318	0	50,411
	後期高齢者医療保険	2,117,944	2,081,801	0	36,143
合計		81,104,080	80,388,660	43,017	672,403

※合計額は、端数処理の関係から内訳の計と合計が一致しない場合があります

表2では、「一般会計」の歳出を、目的別に市民1人当たりの支出額に置き換えているよ。令和5年度も昨年度同様、臨時的な給付金の給付もあったし、民生費の金額が多くなっているね。小・中学校の長寿命化のための工事にたくさんのお金を使ったから、教育費も多くなっていることが分かるね。



◇表2 市民1人当たりの支出

目的	1人当たりの支出額	主な内容
民生費	211,050円	社会福祉(高齢者、障害者、子ども、生活保護など)のための費用
教育費	56,581円	小・中学校の施設の整備、文化事業、スポーツ事業など教育関係の費用
土木費	45,258円	道路、橋、公園などの建設や維持のための費用
総務費	62,867円	市政運営のための事務費や財産の維持管理、選挙などに掛かる費用
衛生費	29,215円	健康増進、予防接種、環境保全やごみ処理など、健康や衛生環境を保持するための費用
公債費	32,618円	市が建物を建てたり、事業を行う際に借り入れたお金を返す費用
消防費	12,402円	消火活動をはじめ、災害が生じた場合の被害を軽減するための費用
議会費	2,656円	市議会運営に掛かる費用
その他(商工費、農林費)	2,075円	商工業、労働、農林業に掛かる費用
計	454,722円	

※令和6年3月31日現在の総人口(116,193人)で計算しています

市民1人当たりに使われたお金は
45万4,722円でした。

表1、円グラフについて

まずは、入ってきたお金(歳入)と支払ったお金(歳出)の総額を見てみよう。

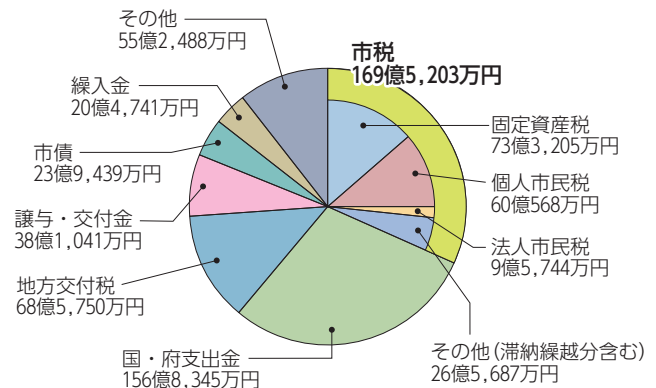
表1では、一般会計と7つの特別会計別に歳入と歳出の額を示しているよ。令和5年度一般会計は昨年の12億6,200万円の黒字から減少したものの、3億9,200万円の黒字を維持できたんだ。

ちなみに令和5年度は特別会計も含めた**全会計で赤字はなかったよ**。

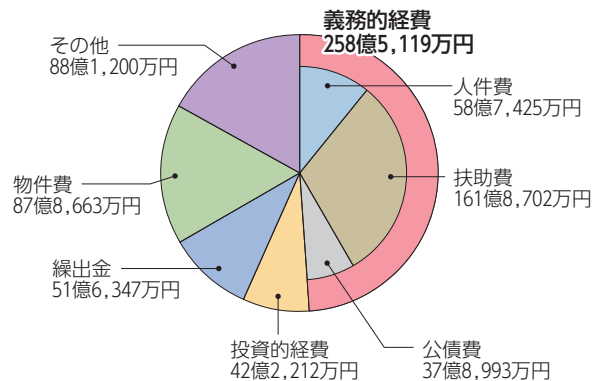
下にある円グラフで、「一般会計」の性質ごとの使い道を見てみよう。

◇令和5年度一般会計決算内訳

歳入(収入) 合計532億7,007万円



歳出(性質別に分けた支出) 合計528億3,540万円



※合計額は、端数処理の関係から内訳の計と合計が一致しない場合があります

令和5年度健全化判断比率

大東市は全ての指標で基準をクリアしているよ。



	大東市の比率など	早期健全化団体	財政再生団体
実質赤字比率	赤字なし	(12.03%)	(20.00%)
連結実質赤字比率	赤字なし	(17.03%)	(30.00%)
実質公債費比率	4.1%	(25.0%)	(35.0%)
将来負担比率	算定なし	(350.0%)	



市のお財布の健康診断

財政破綻を未然に防ぐことを目的とした法律（財政健全化法）により、財政の健全度を診断する4つの指標を、市民の皆さんに毎年公表することが義務付けられているんだ。令和5年度は令和4年度より実質公債費比率は改善したよ。これは、普通交付税が増加したことや、下水道事業への繰出金が減少したことが主な原因となっているんだ。市債（借入金）の現在高をみても昨年度より減っていることが分かるね。

令和6年度各会計の予算執行状況

(単位：千円、%)

会計名		予算額	歳入		歳出	
			収入済額	執行率	支出済額	執行率
一般会計		55,254,338	25,830,085	46.7	18,832,080	34.1
特別会計	国民健康保険	13,993,117	4,006,773	28.6	4,356,986	31.1
	交通災害共済事業	23,940	420	1.8	4,700	19.6
	火災共済事業	37,138	2,968	8.0	7,290	19.6
	介護保険	12,367,458	4,563,851	36.9	4,837,064	39.1
	後期高齢者医療保険	2,314,594	633,904	27.4	574,540	24.8
	2駅周辺整備事業	299,787	19,786	6.6	9,896	3.3
	移管市営住宅特別事業	618,887	352,470	57.0	105,212	17.0
合計		84,909,259	35,410,257	41.7	28,727,768	33.8

※予算額、収入済額、支出済額には、前年度からの繰越を含みます

今年度の上半期(9月30日現在)までの予算の動きだよ。



市債の現在高

市民1人当たり／25万8,717円(昨年より7,986円減)

会計区分	令和6年9月30日現在※1	令和5年9月30日現在※2	増減額
一般会計	299億200万円	309億7400万円	▲10億7,200万円
2駅周辺整備事業特別会計	1億800万円	1億2800万円	▲2,000万円
合計	300億1000万円	311億200万円	▲10億9,200万円

※1 総人口(115,996人)で計算しています。

※2 総人口(116,615人)で計算しています。

※一時借入金の現在高の状況は各会計とも0円です(令和6年9月30日現在)

市の財産

令和6年9月30日現在

土地	974,816.03㎡(令和6年3月31日より43.16㎡増) 増減内容: 行政財産(法定外公共物)の用途廃止による増 146.57㎡ 普通財産の売却による減 88.23㎡ 普通財産の交換による減 15.18㎡
建物	390,430.28㎡(令和6年3月31日時点より217.00㎡増)
財政調整基金	51億400万円(令和6年3月31日より398万円増)
その他の基金	182億6,500万円(令和6年3月31日より4億5,900万円減)



市債って何だろう？

市の借金のことを「市債」と言うよ。借金というよくないイメージがあるけど、そうではないんだ。

みんなが使う公共施設や道路の整備をするときに、全てをその年の税金などで賄ってしまうと、他の必要な仕事やサービスができなくなってしまうんだ。そこで市債を発行して分割払いにすることで、毎年の財政負担を平準化させて世代間の公平性を保ち、他の行政サービスなどにもお金を使えるようにしているよ。



基金ってどういうもの？

市の貯金のことを「基金」と言うよ。基金には、使い道が決まっている特定目的基金と、財源不足を補う財政調整基金があるよ。

特定目的基金の中には公共施設や学校、市営住宅の整備など、さまざまな目的のための基金があるんだよ。その中でもふるさと振興基金は災害対策や子育て支援の充実、まちづくりなどさまざまな市民サービスの向上に使われているんだ。

これからも健全な財政運営を行います

市ホームページに、中期財政収支見通しや、全国レベルで財政状況を比較した「財政状況資料集」など、より詳細な資料を掲載しています。



図財政課 ☎ 870・0405